



『虹天に向う』 (2016年)

日本画による 日本文化発信

— 美育美術館づくりに向けて —

企画：一般社団法人家宝の会

鶴の里美育美術館—準備室—

- * 日本画を通し日本文化美の神髄に触れる
- * 真の日本画は世界に誇る環境芸術である
- * 日本文化美による世界平和への新時代を

【1】 日本画家のアトリエ訪問

普段、なかなか訪れることのできない画家のアトリエ。
鶴の里美育美術館-準備室-では、日本画生 藤島博文の
アトリエに併設されたギャラリーにて、お客様に日本文化美
に触れるひと時をお過ごしいただいています。

ギャラリーでのおもてなし

- 日本の四季を感じる演出でお迎えします。
- 丹頂鶴の一声でごあいさつ。
- お菓子には、庭のお花を添えて。

美育美術館計画では・・・

庭の丹頂鶴を眺めながらゆっくりとお茶を召し上がっていただける喫茶室
を作ります。



博文と共に暮らす丹頂鶴のふぶき号

【2】 展示作品の鑑賞

ギャラリーに入ると天井に届きそうなほどの日本画の大作に圧倒されます。

藤島博文の花鳥画が放つ広大な宇宙観と、生命の輝き。それらは、収集された太古の縄文土器と不思議に感応し合い、独特の空間美を創り出しています。

主な展示作品

- ・藤島博文の花鳥画。
- ・日本のモノづくりの原点である縄文土器の数々。
- ・ブリランテ・アート 飾り絵皿（日本画と工芸のコラボレーション作品）

美育美術館計画では・・・

- ・日本文化の流れを体感できる作品を一堂に揃えます。
- ・天皇の御宸筆（ごしんぴつ=自筆のこと）を特別展示します。



展示された縄文土器の数々（写真は縄文中期 約4500年前のもの）

【3】 日本文化美についての講話

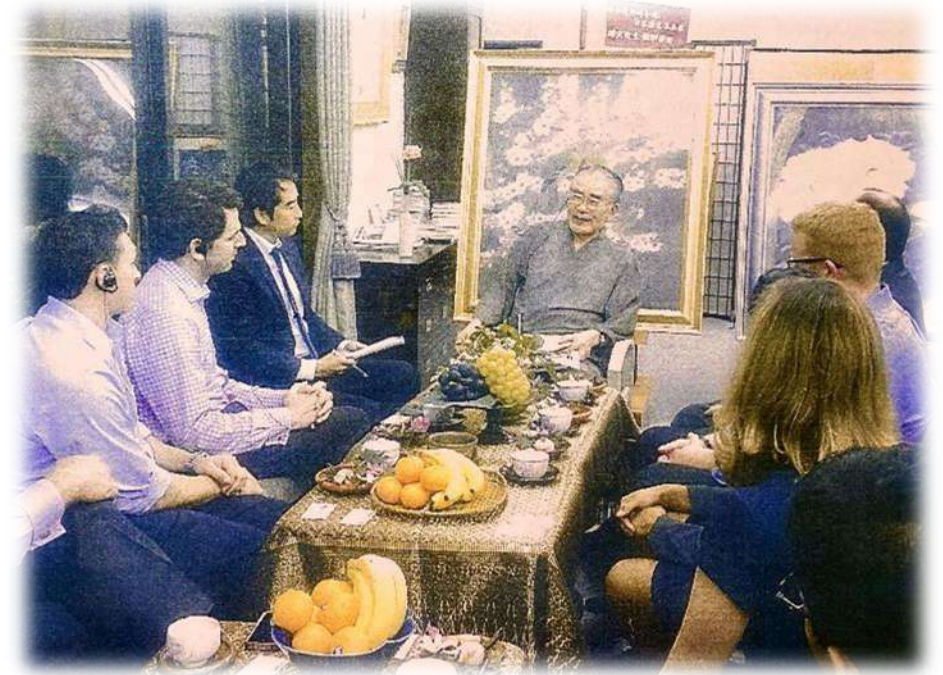
日本画を通して、世界に類をみない「日本文化美」の神髄について、お話させていただきます。
現在、藤島博文の講話は、ご予約にて承っています。
美育美術館-準備室-あて事前にお問い合わせください。

日本文化美について

- 日本文化美に流れる精神性（一木一草宿神、花鳥風月、風情）
- 日本画とは何か（歴史、西洋画との比較）
- 未来における日本画の使命

美育美術館計画では・・・

- 日本国内のみならず海外からのお客様も積極的にお迎えします。
- 文化的つながりの深い中国をはじめとしたアジアの国々との文化交流を促進させます。



日米若手青年政治指導者交流プログラム（2014）

【4】出張講演・日本画作品の貸出

藤島博文は制作の傍ら、これまでも国内外の様々な場所で日本文化についての講演をしてきました。この度、日本文化美をより間近で感じていただくため、日本画の原画をお貸出しし、プライベートな空間でゆっくりとご鑑賞いただける企画を設けました。

出張講演と作品の貸出

- ・作品スライドを用いた出張講演。
- ・ホテルエントランスやパーティ会場等の日本画美空間の演出。
- ・プライベート美術館。（ご希望により作家本人が解説いたします）

美育美術館計画では・・・

多くのお客様に日本画美を体感いただけるサロンを提供いたします。



G7 つくば科学技術大臣会合（2016年）

【5】社員研修プログラム

アニメ、和食、おもてなし……。海外から熱い視線が注がれている日本文化ですが、私たちは自国の文化を正しく理解できているでしょうか。国際交流において、自国のアイデンティティへの理解はますます重要になってきています。

日本画を題材に「日本文化美」の神髄に触れ、ビジネスに不可欠な「美意識」「人間力」を養うプログラムをご用意しました。

研修プログラムの一例

- ・1チームにつき日本画1作品を鑑賞し、色彩・構図・メッセージ性等について意見をまとめ、各チームの代表者が、全員の前で発表。
最後に作家がコメント・解説を行い、日本画のもつ深い精神性を説く。

美育美術館計画では……

閉館後の館内を社員研修の場としてお貸出しします。



『八月の翼』（2021年）

【6】 作品のご提供

「日本画を手元において鑑賞したい。」

「子供や孫に日本文化の大切さを語り継ぎたい。」

「海外の方にお土産として差し上げたい。」

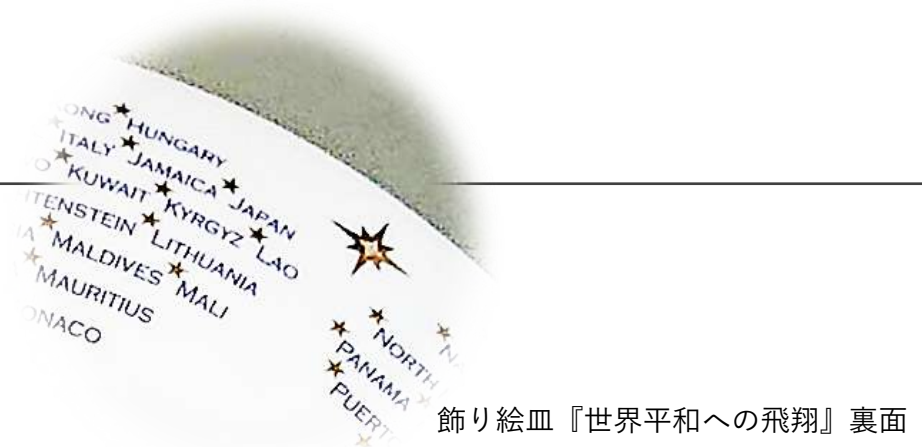
私たちは、ご要望に応じて作品をご提供するだけでなく、
作品の背景にある「日本文化の精神性」という真の価値
を大切にお伝えしています。

現在、ご提供可能な作品

- ・ジークレー版画（作家直筆のサインをお入れします）
- ・ブリランテ・アート飾り絵皿（日本画と工芸の初コラボ作品です）
- ・日本画作品のオーダーの承り（内容、大きさ等ご相談を承ります）

美育美術館計画では・・・

一部の収蔵作品のオーナーになっていただく制度を実施する予定です。



飾り絵皿『世界平和への飛翔』裏面



額装された作品は、ひととき存在感を放ちます

【7】文化支援への呼びかけ

私たちは、小さなアトリエを出発点に、日本文化発信のための
美育美術館づくりへと一歩ずつ歩みを進めています。
今後は、自治体からの誘致を含む土地の選定、企業や個人スポンサーの募集、一部収蔵品のオーナー権の販売を視野に入れて活動してまいります。また、クラウドファンディングを通して、文化支援の呼びかけの輪を大きく広めることも大切な取り組みのひとつと捉えています。

—あなたも美術館づくりに参加しませんか—

美育美術館計画で…

花鳥風月の美しい美術館をぜひ共に作りましょう。

